

2026 年 1 月 13 日

人間拡張の「現在」「未来」を紹介する「人間拡張シンポジウム 2026」を 2 月にお台場で開催 ～ 産学の専門家が最新の技術からユースケース、ELSI 動向までを紹介(参加無料、事前申込制)～

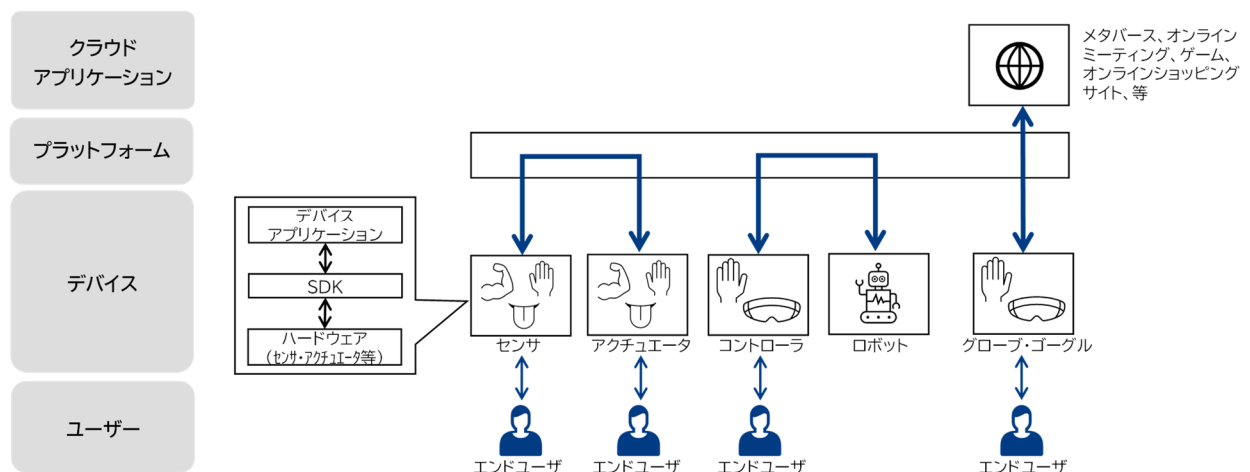
人間拡張コンソーシアム(リーダー:第 3 期 SIP 課題「バーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術・ルールの整備」プログラムディレクター(内閣府) 持丸正明)は、2026 年 2 月 9 日(月)に、発足後初の公開イベントである「人間拡張シンポジウム 2026」を開催します。本シンポジウムは、人間拡張の社会認知向上と共通理解の促進を目的に、学术界・産業界・行政関係者が一堂に会するリアル・オンライン併催のオープンイベントです。事前にお申し込み頂くことで、どなたでもご参加頂けます。

近年、AI・XR・ロボティクス・ウェアラブル技術の発展に伴い、人間の身体・認知・知覚能力の補完・拡張や、時間的・空間的制約を超えた存在の拡張を行う「人間拡張」が注目を集めています。本シンポジウムでは、人間拡張が社会にもたらす価値と将来期待されるユースケース、技術の全体像、倫理・法律面の課題(ELSI: Ethical, Legal, and Social Issues)について最新の知見を共有します。また、コンソーシアムの会員企業・研究者が取り組む研究・実証事例を、プレゼンテーションと実機デモにより紹介します。人間拡張技術の現在と未来を知っていただける、またとない機会ですので、是非ご参加下さい。

【人間拡張の種類とユースケース】



【人間拡張の技術要素】



講演・デモ展示で扱うユースケース・技術要素

■ 開催概要

- 日時：2026年2月9日(月) 13:00～17:30
- 場所：docomo R&D OPEN LAB ODAIBA
東京都港区台場 2-3-2 台場フロンティアビル 12F
(ゆりかもめ「お台場海浜公園」駅より徒歩 1 分、りんかい線「東京テレポート」駅より徒歩 3 分)
<https://docomo-openlab.jp/about/#access> ※講演はオンラインでの聴講も可能です。
- 参加費：無料(事前申込制)
- 参加対象：人間拡張技術に興味をお持ちの研究者、学生、企業・行政関係者など
- 申込方法：こちらのページから前日までにお申込み下さい。※事務局(三菱総合研究所)のページに遷移します。
<https://mri-project.smktg.jp/public/application/add/25253>

■ シンポジウムの主な内容

コンソーシアムリーダー、会員などによる講演と、会員によるデモ展示を行います(講演はオンラインで聴講可能)。講演では、コンソーシアムが発行した人間拡張コンソーシアム白書の内容をベースに人間拡張のユースケース、技術を俯瞰するほか、各会員の具体的な取組みを紹介します。デモ展示では、実際の人間拡張技術を来場者が体験できる、インタラクティブな展示を実施します。講演・デモ展示の詳細は別紙をご覧ください。

○ 講演プログラム

開場 12:30	
開会 13:00	
コンソーシアムリーダー挨拶	リーダー 持丸正明
来賓挨拶	内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局審議官 川上 大輔様
人間拡張技術の全体像 ～人間拡張コンソーシアム白書の紹介～	サブリーダー 株式会社 NTT ドコモ CSO (Chief Standardization Officer) 兼 コーポレートエバンジェリスト 中村武宏
人間拡張に関する取組みの紹介	コンソーシアム会員(詳細は別紙参照)
第一部 プラットフォーム	● 株式会社 NTT ドコモ
デモ展示 14:00～14:30	
第二部 デバイス・クラウドアプリケーション	● 京セラ株式会社
(I) 知覚・認知の拡張	● 株式会社ワコム
(II) 存在・認知の拡張	● トヨタ自動車株式会社 未来創生センター
デモ展示 15:30～16:00	
(III) 身体能力・認知の拡張	● 広島大学大学院 教授 栗田雄一
	● ミズノ株式会社
(IV) 部品・部素材	● 住友電気工業株式会社
第三部 倫理・社会・法的課題	● 関真也法律事務所
デモ展示 17:00～17:30	
閉会 17:30	

○ デモ展示一覧

株式会社 NTT ドコモ	FEEL TECH®による新しい映像体験
京セラ株式会社	聴覚拡張ヒアラブルデバイス
株式会社ワコム	Life Ink Community
トヨタ自動車株式会社 未来創生センター	超々低遅延操縦を目指すパートナーロボット遠隔操縦システム
大日本印刷株式会社(DNP)	DNP コンテンツインタラクティブシステム「みどころキューブ®MR 型」の体験
広島大学大学院 教授 栗田雄一	空気圧人工筋アシスト装置とビデオモーションキャプチャによる運動支援システム
ミズノ株式会社	CFRP 板バネフットギア、スポーツ用義足板バネ、パワーアシストスーツ、パーソナルフィッティングシューズ、人工筋肉
住友電気工業株式会社	ワイヤセンサ

■ 人間拡張コンソーシアムについて

多様な産業分野の企業及び大学・研究機関等が、業界横断、産官学連携で人間拡張技術による社会課題の解決に取り組むことを目的として、内閣府主導の国家プロジェクト 戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)第3期「バーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術・ルールの整備」の一環で 2024 年 12 月に発足しました。2025 年 12 月現在、20 の企業・団体会員と 6 名の個人会員が参画し、人間拡張技術の実証や、国際標準化、情報発信といった活動に取り組んでいます。

人間拡張コンソーシアム Web サイト: <https://human-aug.com/>

■ 人間拡張コンソーシアム白書について

人間拡張コンソーシアム白書では、人間拡張の定義・類型(身体能力、認知、知覚、存在の拡張)、類型ごとのユースケース、技術要素(クラウドアプリケーション、デバイス、プラットフォームなど)、標準化動向、ELSI などについて整理しています。2025 年 10 月に Ver.1 を発行後、随時改訂を進めており、最新版は Ver.2 です。以下 URL よりご覧いただけます。

人間拡張コンソーシアム白書: <https://human-aug.com/publication/>

■ 本件に関するお問い合わせ

人間拡張コンソーシアム 事務局

Email: contact@human-aug.com

■ 別紙:会員による講演・デモ展示の詳細(講演順)

※ 講演、デモ展示ともに本リリース発表時点の情報であり、変更の可能性があります。



講演・デモ展示を行う会員の一覧(講演順)

【第一部】 プラットフォーム

株式会社 NTT ドコモ	
<講演> 6G 時代の新しいコミュニケーションを拓く「人間拡張基盤®」の展望	
株式会社 NTT ドコモ モバイルイノベーションテック部 石川 博規	言葉だけでは伝えきれない感覚やスキルを、6G と「人間拡張基盤®」がいかにして共有可能にするのか。距離や身体の壁を越え、心まで深くつながる未来のコミュニケーションのかたちと、社会にもたらす変革を展望します。
<デモ展示> FEEL TECH®による新しい映像体験	
	体験者の触覚感度に合わせた、映画の登場人物の感情・感覚体験デモを実施します。 参考 URL: FEEL TECH *「人間拡張基盤」「FEEL TECH」は株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

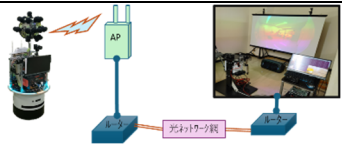

【第二部】 デバイス・クラウドアプリケーション

(I) 知覚・認知の拡張

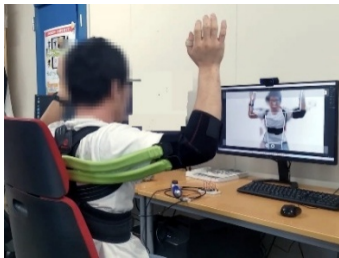

京セラ株式会社	
<講演> 京セラにおける人間拡張の研究開発の紹介	
フューチャーデザインラボ 所長 鈴木 貴志	京セラでは、さりげなく人に優しく寄り添う技術によって人の日常をもっと楽しく、快適で、わくわくする体験に拡張する、人間拡張の研究開発を進めています。これまでに進めてきた研究開発の例について紹介します。
<デモ展示> 聴覚拡張ヒアラブルデバイス	
	「聴覚拡張ヒアラブルデバイス」は、骨伝導イヤホンとバイノーラルマイクに、AI システムを組み合わせることにより周りの音への注意を代行し、聞き逃してしまう音に気付かせたり、その場で聞き返せたりできるデバイスです。

株式会社ワコム	
<講演> Life Ink Community	
株式会社ワコム 掛晃幸	「Life Ink Community」は、脳と身体における繊細で複雑な創造のプロセスを芸術的に探究する共創的な取り組みです。この講演では、なぜこのような試みをおこなったのか、それに至る経緯と目的についてお伝えします。
<デモ展示> 「Life Ink Community」	
	「Life Ink Community」は、脳と身体における繊細で複雑な創造のプロセスを芸術的に探究する共創的な取り組みです。バイオセンシング技術と新しいデジタルインクを組み合わせることで、目の前の人との対話なども通して変化し続ける内面の状態を捉え、それを直感的でアクセスしやすい芸術表現へと変換し、視覚化します。来場者はバイオセンシング機器を装着し、没入型インスタレーションを体験することができます。

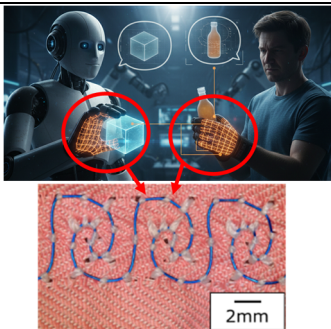
(II) 存在・認知の拡張

トヨタ自動車株式会社 未来創生センター	
<講演> パートナーロボットによる人間拡張への挑戦！	
トヨタ自動車株式会社 未来創生センター R-フロンティア部 協調ロボティクスG 稲垣裕滋	人の役に立つロボットとして開発しているパートナーロボットを使い、バーチャルな移動の実現、誰でも楽しく自由に移動できるシステムの実現に向けて取り組んでいる研究内容を紹介します。
<デモ展示> 超々低遅延操縦を目指すパートナーロボット遠隔操縦システム	
	低遅延無線伝送技術を使ったロボット遠隔操作システムのデモを実施。伝送遅延を感じにくいため、自然な感覚でロボットの遠隔操作をご体感頂けます。
大日本印刷株式会社(DNP)	
<デモ展示> DNP コンテンツインタラクティブシステム「みどころキューブ® MR 型」の体験	
	HMD を利用した MR 空間において、キューブ型のインターフェイスによる直感的な操作による作品・文化財等の体験デモを実施します 参考 URL： https://www.dnp.co.jp/news/detail/20176531_1587.html

(III) 身体能力・認知の拡張

広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授 栗田 雄一	
<講演> デジタルハプティクス&エクスペリエンス基盤技術による触感デザインと体験伝送支援	
広島大学大学院 先進理工系科学研究科 教授 栗田 雄一	視覚と触覚のコンピューティショナルデザインを支援するハプティクスデザインプラットフォーム、非接触運動計測と空気圧人工筋を使った運動アシスト技術を組み合わせた体験伝送技術と活用事例についてご紹介します。
<デモ展示> 空気圧人工筋アシスト装置とビデオモーションキャプチャによる運動支援システム	
	空気圧ゴム人工筋をもちいたウェアラブルなアシスト装置と、スマートフォンのビデオカメラをつかったモーションキャプチャによる体操支援システム(販売中製品)をデモ展示いたします。
ミズノ株式会社	
<講演> スポーツテクノロジーと人間拡張技術の融合	
グローバル研究開発部 人間拡張研究開発課 主任技師 酒井 隆太	われわれは、すべての人々が自らの身体を自在に操り、今までできなかったことができるようになる活気ある社会を、ミズノが持つスポーツテクノロジーと人間拡張技術の融合により実現していきます。その取り組み事例を紹介します。
<デモ展示> ミズノが考える人間拡張技術の社会実装の事例紹介	
	未来のモビリティである CFRP 板バネフットギアコンセプトモデル「MOBILARIA β」を中心に、スポーツ用義足板バネ、パワーアシストスーツ、パーソナルフィッティングシューズ、人工筋肉を展示します。

(IV) 部品・部素材

住友電気工業株式会社	
<講演> ワイヤセンサによる触覚拡張デバイス	
アドバンストマテリアル研究所 杉村 和昭	住友電工は、高強度鋼線技術により、従来製品よりも強度を保ちながらも扱いやすい特徴がある、柔軟性の高い極細ワイヤ状の圧電センサを開発。これにより、広範囲なセンシングが可能となり、外表面や関節などへの設置が容易で、接着や縫製が選択可能。引張りや圧縮で電圧が発生し、触覚代替や微小力でのスイッチ、振動検知など多様な用途が期待される。
<デモ展示> ワイヤセンサ	
	開発した柔軟性の高い極細ワイヤ状の圧電センサをご紹介。広範囲なセンシングが可能となり、設置方法が容易で、接着や縫製が選択可能。引張りや圧縮で電圧が発生し、触覚代替や微小力でのスイッチ、振動検知など多様な用途を感じていただきたい。

【第三部】倫理・社会・法的課題

関真也法律事務所	
<講演> 技能・感覚のデジタル化に関する法律上の課題	
弁護士・ニューヨーク州弁護士 上級 VR 技術者 関 真也	熟練した技能や触感・味・香りなどの感覚をデジタル化して再現できるようにした場合における知的財産・個人情報等の法的課題について、技術発展・実用化のスピードに合わせた環境整備を目指して整理を行います。